

世界の若者 山形奮闘記

～海外出身の山大卒業生～

第1回

私の目から見た日本

株式会社山本製作所 于 坤



早いもので今年は来日してちょうど5年目になる。日本での生活にもだいぶ慣れ、日本の伝統文化、自然の豊かさ、地方都市ならではの人情を心地よく感じながら、楽しく充実した日々を過ごしている。では、日本に住んでいる外国人として、日本をどのように感じているのか、ご紹介させていただきたいと思う。

■生活について

日本のサービス業はとても良い。商品を買う・買わないにかかわらず、店員さんがいつも笑顔で礼儀正しく対応してくれる。特にコンビニは24時間営業のため、いざという時は本当に助かる。私の故郷にはまだ24時間営業のコンビニがないので、初めて日本に来た時、こんな小さな店でも食料品から化粧品まで豊富に品物がそろっていることに驚いた。

もう一つ関心していることは日本の電車がいつも時間通りに運行していることである。これは多分日本人がよく時間を守るという国民性に関係があるのではないだろうか。中国の交通機関もいつか日本のように1分1秒まで時間厳守で運行できたらいいなと思う。

また、私は日本の自然環境の美しさにも惹かれた。日本人は小さい頃から自然環境を守るという意識が培われており、どこの山も緑豊かで、景色が美しい。自然との触れ合いも身近に感じる事ができる。それに、ゴミの分別もそれぞれの家庭で行われているため、効率よく回収できる。日本のような資源の少ない国でも、資源のリサイクルを進めようとする皆の日頃の努力により、自然環境を守りながら、経済効果も高めることができていると思う。

■仕事について

来日前に日本製品の品質が高いということをよく聞いたが、一体どのように作られているのか、不思議だった。実際に日本で働き、生で日本企業の文化や仕事の進め方を体験することによって、その答えがようやく分かってきたように思う。

まず、日本人はまじめで誠実な方が多く、特に仕事に対しては情熱を持って働いている。企業は、「品質は会社の命である」という理念を常に社員一人一人に浸透させ、日本特有の企業文化を育ててきた。また、日本企業は社員教育に熱心で、技能研修を通じて社員のレベルアップにも取り組んでいる。それに、日本の多くの製造業に携わる企業はトヨタ生産方式を取り入れ、「異常が発生したら機械をただちに停止して、不良品を作らない」という考え方（ニンベンの付いた「自動化」）と、各工程で必要なものだけを、停滞させることなく流れるように生産する考え方（「ジャスト・イン・タイム」）の2つの考え方を持ち、品質の高い製品を造り続けている。これらの特長からメイド・イン・ジャパンというブランドを世界中に広げてきたのではないだろうかと思う。

以上は私が感じた日本である。まだまだ私が知らない日本の魅力はたくさんあると思うが、これからも日本の良さを発見し、母国に発信したいと考えている。

于 坤 (ウ・コン)

中国吉林省出身。

中国長春大学卒業後、山形大学大学院理工学研究科ものづくり技術経営学博士前期課程修了。

2012年株式会社山本製作所入社。